

【刑 法】

問題 次の事例におけるX及びYの罪責を論じなさい（特別法違反の点は除く）。

- (1) Xは、最終電車に乗って帰宅する途中、酒の酔いが回って眠り込んだため、自宅の最寄り駅であるA駅を乗り過ごし、終点のB駅まで行ってしまった。すでにB駅からA駅に戻る電車はなくなっており、B駅改札口を出たXは、やむなく約5km離れた自宅まで徒歩で帰ることにして、駅前商店街を歩き始めた。商店街を歩いていると、中華料理店前の路上に、無施錠の自転車が置かれていた。Xは、同店が店内に片づけ忘れた自転車だろうと思ったが、「どうせ出前に使うのだから、明日の開店前までに元の場所に戻しておけば、店に迷惑はかからないだろう」と考え、その自転車に乗って帰宅した。この自転車は、上記中華料理店の店主Cの所有物であり、Cがたまたま施錠し忘れたものであった。
- (2) 翌朝、Xは、上記中華料理店の店先に自転車を戻すため、自転車に乗ろうとしたところ、前夜は気づかなかったが、自転車の前籠に、セカンドバッグが入っているのを発見した。Xがバッグの中身を確認すると、銀行の封筒に収められた現金30万円が入っていた。この30万円は、前日、Cが、出前の食器を回収する途中で銀行に立ち寄って払い戻しを受けた同店の運転資金であり、Cが食器を店内に戻すことに気をとられ、籠に入れたままになっていたものであった。Xは、この30万円を自分のものにしたい気持ちになり、これを領得した。その後、Xは、銀行の封筒を自宅内で燃やしたうえ、その灰をトイレに流し、C所有の自転車をB駅とは反対方向にX宅から約10km離れた河川敷まで乗っていき、不法投棄された自転車の中に隠すように捨てた。また、Xは、C所有のセカンドバッグを細かく裁断したうえ、それぞれ離れた場所にある複数のゴミ箱にばらばらに捨てた。
- (3) 30万円の臨時収入を得て気が大きくなったXは、友人Yを誘って夜の街に繰り出し、2人で大騒ぎをしながら飲酒していた。すると、X・Yの騒ぎように腹を立てたDが、「うるせえんだ、てめえら、静かに飲めねえのか」と怒声を発するや、左右の手拳でXの顔面および頭部を乱打し始めた。不意を突かれたXは、なすすべもなく殴打され、もんどりうって転倒した。Dは、なおもXに襲いかかる勢いだったが、Yが、「やめろ、やめてくれ」

と叫びながら、側方からDの身体に体当たりするようにしがみつくと、バランスを崩し、Yにしがみつかれたまま仰向けに転倒した。Dは、なおも、倒れたままの体勢でYをふりほどこうと大暴れしていた。その間に立ち上がったXは、一方的に殴打されたことに激高し、Yに「絶対に離すなよ」と申し向けたうえ、「わかった」と応じたYにしがみつかれたままのDの顔面を、怒りにまかせて靴底で何度も踏みつけたところ、Dは動かなくなった。そこで、YはDの身体から離れたが、怒りがおさまらないXは、「何だ、もう終わりか、ふざけんな」と叫ぶや、Dの頭部を蹴りつけ始めた。それを見たYは、「やめろ、それ以上やっちゃダメだ」とXを背後から羽交い締めにしたが、Xにふりほどかれてしまった。それでもYは、XとDの間に割って入り、Xに向かって両手を広げ、「ダメだ、X、もうやめろ」と絶叫したところ、Xは、Dに対する攻撃を止めた。

- (4) その後、Xは、Dの上着の内ポケットに札入れが入っていることに気づくや、これを抜き取って中身を確認したが、現金はほとんど入っていなかった。そこで、Xは、札入れの中からキャッシュカードを抜き取り、Dに対して「おい、こら。これで勘弁してほしいかったら、暗証番号を言え。言わないと、もっと痛い目を見るぞ」と申し向けた。Yは、Xに対して、「おい、そこまではすることはないだろう。もう、やめよう」と制止したが、Xは、「うるさい。黙っている。こんなもんで、気がすまない」と聞く耳をもたず、なおもDに脅迫を加えながら暗証番号を教えるように要求した。そこで、Yも、これ以上Xに暴行を加えさせたくない一心で、「おい、早く言った方が身のためだぞ」とDに申し向けた。もはや抵抗する体力も気力も失っていたDは、やっとのことで暗証番号を教えた。
- (5) Xは、Yに対し、「今からコンビニに行って、このカードで金を下ろして、飲み直そう。金が残ったら、山分けしよう」と誘ったが、Yは、「そんな金で飲むのは、まっぴらだ。びた一文いらぬ」と断って、その場から立ち去った。その直後、店員の110番通報で駆けつけた警察官によって、Xは逮捕された。そのため、Xは、Dのキャッシュカードと暗証番号を用いて預金の払い戻しを受けることはできなかった。
- (6) Dは、数日後、入院先の病院で死亡したが、死因となった頭部傷害は、Dが動かなくなる前に加えられた暴行により生じたものか、Dが動かなくなった後に加えられた暴行により生じたものか、判明しなかった。